

2025年度 一般社団法人鳥取県社会福祉士会

基礎研修Ⅱ 開催要項

Zoomによるオンライン研修

基礎研修Ⅱは、社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術について学び、基礎的な実践力を担保することを目的としています。

2025年度は、講義部分は日本社会福祉士会のeラーニングを活用し、グループ討議や演習等はZoom機能を活用して研修を行います。（ただし11月15日（土）については、倉吉駅前周辺研修会場にて集合形式で開催します）

さらなるステップアップを目指すための研修です。ぜひご参加ください。

■対象者：基礎研修Ⅰを修了された方

■定員：30名

※2024年度までの受講者で未修了科目がある者（未修了科目のみ受講が可能）

■受講料：社会福祉士会会員 30,000円 非会員 60,000円

※2024年度までの受講者で未修了科目がある者は1科目につき：2,000円

※基礎研修テキスト（上巻・下巻・ワークブックⅡ）をお持ちでない方は、受講開始日までに各自で購入してください。購入手続は日本社会福祉会ホームページ・出版物のご案内（<https://jacsw-shop.com/>）をご参照ください。

■申込方法・受講決定・受講料

申込〆切 6月30日（月）

- ① 鳥取県社会福祉士会ホームページ<http://www.csw-tottori.jp/>「研修受講申し込みフォーム」よりお申し込みください。
受講決定通知及び事前課題等は順次、郵送及びメールにてお知らせいたします。送付先住所を備考欄にご記入いただくとともに、受信可能な連絡先メールアドレスを入力ください。
（資料送信のため～@docomo.ne.jp、@au.com、@softbank.ne.jpなどのキャリアメールは不可とします）
- ② 受講申込内容を確認の上、受講決定通知を送付します。※先着順にて受講を決定します。
eラーニングの視聴方法、事前課題提出方法等は、受講決定通知でお知らせします。
- ③ 受講料は受講決定通知（7月上旬ごろ発送予定）に記載の方法でお支払いください。

【申込・問合せ先】 一般社団法人鳥取県社会福祉士事務局
〒689-0201 鳥取市伏野 1729-5 鳥取県立福祉人材研修センター内
電話 0857-30-6308 FAX 0857-30-6309



一般社団法人

鳥取県社会福祉士会

Tottori Association of Certified Social Workers

【2025年度基礎研修Ⅱプログラム】 2025年7月27日(日)～2026年1月20日(火)

科目	形式	テーマ	開催日時・提出期限等	研修方法
ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ 【計15時間】	e-ラーニング (講義)	相談援助の視座と社会福祉援助の展開過程	90分	自宅学習
		実践のためのアプローチ (ソーシャルワーク実践理論・モデルから学ぶ)	90分	自宅学習
		自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク	90分	自宅学習
	オンライン研修 (グループ討議)	相談援助の視座と社会福祉援助の展開過程	7月27日(日) 10:00～11:30	集合研修
		実践のためのアプローチ (ソーシャルワーク実践理論・モデルから学ぶ)	7月27日(日) 12:20～13:50	集合研修
		自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク	7月27日(日) 14:00～15:30	集合研修
	事前課題	実践事例演習 (3つの事例のレジュメA4 1～2枚)	7月25日(金)	
オンライン研修 (演習)	実践事例演習 ※受講要件: ソーシャルワーク理論系研修3回受講と事前課題の提出	8月9日(土) 9:30～16:30	集合研修	
地域開発・政策系科目Ⅰ 【計12時間】	事前課題	「社会資源の理解と社会資源開発」①② ①レポート800字、②マップA4 1枚及びレポート800字 「地域における福祉政策と福祉計画」①② ①レポート1,000字、②レポート800字	8月22日(金)	
	e-ラーニング (講義)	社会資源の理解と社会資源開発	90分	自宅学習
		連携システムのあり方とネットワーク構築	90分	自宅学習
		地域における福祉政策と福祉計画	90分	自宅学習
		社会福祉調査の方法と実際	90分	自宅学習
	オンライン研修 (グループ討議)	社会資源の理解と社会資源開発 ※受講要件: 事前課題の事前(提出期限 8月22日)提出	9月6日(土)13:00～14:30	集合研修
		連携システムのあり方とネットワーク構築	9月6日(土)14:40～16:10	集合研修
		地域における福祉政策と福祉計画 ※受講要件: 事前課題の事前(提出期限 8月22日)提出	9月7日(日)13:00～14:30	集合研修
		社会福祉調査の方法と実際	9月7日(日)14:40～16:10	集合研修
	修了レポート	「社会福祉調査の方法と実際」①② ①調査実施、②レポートA4 2～3枚	11月28日(金)	
権利擁護・法学系科目Ⅰ 【計12時間】	e-ラーニング (講義)	社会福祉における法Ⅰ	90分	自宅学習
		ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ	90分	自宅学習
		社会福祉における法Ⅱ	90分	自宅学習
		ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ	90分	自宅学習
	オンライン研修 (グループ討議)	社会福祉における法Ⅰ	10月4日(土)13:00～14:30	集合研修
		ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ	10月4日(土)14:40～16:10	集合研修
		社会福祉における法Ⅱ	10月18日(土)13:00～14:30	集合研修
		ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ	10月18日(土)14:40～16:10	集合研修
人材育成系科目Ⅰ 【計6時間】	事前課題	自己チェックシート	11月14日(金)	
	e-ラーニング (講義)	スーパービジョンとは ※受講要件: 事前課題の当日提出	90分	自宅学習
		スーパービジョンのモデルセッションを見る (講義)	90分	自宅学習
集合	スーパーバイザー体験 (演習)	11月15日(土) 13:30～16:30	集合研修	
実践評価・実践研究系科目Ⅰ 【計15時間】	e-ラーニング (講義)	実践研究の意義と方法	90分	自宅学習
		実践研究のための記録	90分	自宅学習
		実践評価の方法	90分	自宅学習
		実践研究発表の方法	90分	自宅学習
	オンライン研修 (グループ討議)	実践研究の意義と方法	11月29日(土) 10:00～11:30	集合研修
		実践研究のための記録	11月29日(土) 12:20～13:50	集合研修
		実践評価の方法	11月29日(土) 14:10～15:30	集合研修
	事前課題	「模擬実践研究発表レジュメの作成」(レジュメA4 2枚)	11月21日(金)	
オンライン研修 (演習・プレゼンテーション)	実践研究発表の方法 ※受講要件: 実践評価研修3回受講と事前課題の事前提出	12月13日(土) 10:00～15:30	集合研修	
修了レポート	「模擬実践研究発表レジュメの作成」(レジュメA4 2枚)	1月20日(火)		
60時間				

【eラーニング受講までの手順】

- ① 日本社会福祉士会ホームページへアクセス (<https://www.jacsw.or.jp>)
- ② ページ右側（オレンジ色）の「e-learning(ラーニング)講座開催中」リンクをクリック。
- ③ 表示されたページの「視聴を希望する方はこちら」をクリックし、ユーザーIDとパスワードを入力してログインする。
- ④ 表示されたページの左側にある「講座一覧」→「基礎研修Ⅱ関連講義」（23）より視聴する。
※会員外の方 eラーニングの視聴方法については、決定通知でお知らせします。

【eラーニング受講から集合研修受講までの手順】

- ① 基礎研修テキストの各科目研修内容の該当ページを読み予習する。
- ② 各研修内容 eラーニング講義を視聴、視聴後に小テストを受ける。（合格するまで繰り返し実施）
（例） ソーシャルワーク理論系科目Ⅰの場合
「相談援助の視座と展開過程」「実践のためのアプローチ」「自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク」の各科目を視聴し小テストを受け合格する。
- ③ 受講証明書を発行する。
- ④ 科目修了テストを受ける。
- ⑤ 集合研修を受講する。
※事前課題がある科目については、ワードで作成した課題を提出期限までにグーグルクラスルームかメールでの提出が必要です。
※eラーニング科目受講後、受講証明書・科目修了テストについては集合研修前日までにグーグルクラスルームかメールでの提出が必要となります。

【事前課題、修了レポートの提出について】

- ① グーグルクラスルーム及びメールでの提出は、当日の16時までに提出してください。

【Google classroom(グーグル クラスルーム)説明会】

7月12日(土) 10:00～ 1時間程度 “ZOOM” を活用したオンライン説明会
研修は、「Google classroom」というアプリを用いて課題提出・受講管理を行います。アプリの使い方について説明会を行いますのでぜひご参加ください。
(当日参加が難しい場合は、別途説明の機会を設けさせていただきます)

【本研修（Zoomミーティング）に参加するにあたり準備いただきたい事項】

- ① Wi-Fi環境（最低条件）又は安定したインターネット回線をご準備ください。
- ② 画面上に教材提示を行う場合もあるため、カメラ、マイク機能の付いたパソコン（最低でも10インチ以上の画面）をご準備ください。スマートフォン・タブレットを使用しての参加はご遠慮ください。
- ③ 受講時および研修資料に関して、研修実施時の写真撮影、録画、録音、またはそれに準ずる行為を禁止としております。
- ④ 本研修では、ビデオ会議システム「Zoomミーティング」を使用しますので、事前に「Zoom」アプリを使用予定の機器にインストール／ダウンロードしてください。インストール／ダウンロードは無料でできます。なお、研修に参加するだけであればZoomアカウントの取得（サインアップ）は不要です。
- ⑤ 研修参加にかかるデータ通信料については、受講者各自のご負担となります。
- ⑥ 本研修では、集合研修の受講要件として受講科目のeラーニング視聴が必要となります。eラーニング視聴については、本会会員は無料で視聴ができます。会員以外の受講者は、有料視聴（1科目2,000円）となります。日本社会福祉士会生涯研修制度管理システムのユーザーIDとパスワードを取得のうえ視聴してください。

- ⑦ 本研修では、研修事務局より事前にZoomのID・パスコード並びに研修資料が受講者あてにメールにて送信されます。

【その他】

- ・ 感染症、自然災害等により開催に変更が生じることがあります。その場合にはメールやホームページなどでの案内、電話などで連絡いたします。
- ・ 11月15日実施予定の人材育成系科目スーパーバイザー体験については、倉吉駅前周辺の研修会場にて集合形式で開催します。研修終了後に基礎研修Ⅰ～Ⅲの受講生・運営スタッフで懇親会を行う予定です。

- ・ 生涯研修制度と認定社会福祉士制度の取扱いについて

基礎研修の期間延長は、生涯研修制度上と認定社会福祉士制度上での扱いが異なります。

□生涯研修制度上での基礎研修

生涯研修制度上での基礎研修は、期間延長できる期間の年限を定めていないので、基礎研修Ⅰの受講開始から基礎研修Ⅲの修了までの期間に制限はありません。成年後見活動を目標とされている会員におかれては、生涯研修制度上での基礎研修（Ⅰ～Ⅲ）の修了が要件とされています。

□認定社会福祉士制度上での基礎研修

一方、認定社会福祉士制度上での基礎研修は、基礎研修Ⅰの受講開始から6年度以内に修了することが必要です。（6年度を超えると認定社会福祉士制度の単位対象とはなりません）。

□成年後見人材育成研修の受講要件と成年後見活動

また、社会福祉士など専門職による成年後見は、成年後見人材育成研修の受講が必要とされています。受講要件は、a. 基礎課程（基礎研修Ⅰ～Ⅲ）の修了者、b. 旧生涯研修制度の共通研修課程を1回以上修了している者、c. 認定社会福祉士である者 のいずれかとされています。成年後見人材育成研修課程（4日間）を修了後、本会ぱあとなあ鳥取の名簿登録研修（4時間）を経て、家庭裁判所へのぱあとなあ鳥取の名簿登録後、成年後見活動に従事いただくこととなります。

（出典：日本社会福祉士会生涯研修手帳）